

「新研究・開発センター（仮称）」を開設する計画について ～食品用改良剤の国内研究部門を集約化し、価値創造型開発機能を強化～

理研ビタミン株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山木一彦）は、食品用改良剤の研究開発体制の強化に向けて、千葉工場（千葉県千葉市）内に新研究開発施設を建設する事にいたしましたので、お知らせいたします。同施設「新研究・開発センター（仮称）」は2019年10月の竣工を予定しております。



「新研究・開発センター（仮称）」外観イメージ

1. 背景

当社は「天然物の有効利用を図り、社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する」という経営理念のもと、天然素材の用途開発および天然素材からの有効成分の抽出、精製、濃縮、用途開発や製剤化を固有の技術として、独自性のある製品開発を行っております。

近年、ライフスタイルや嗜好の多様化により、加工食品に求められる要素も高度化しております。当社の食品用改良剤事業では、加工食品メーカーのお客様に、改良剤を使用することでそれぞれの商品をより美味しく、さらなる品質向上に繋がる様な提案を行なっております。提案先の業界も幅広く、製パン、和菓子、洋菓子、飲料、豆腐、麺、各種惣菜等、多岐にわたる食品用改良剤を取り扱っております。

2. 建設の目的

2018年4月より始めました新中期経営計画では、「新市場の創出に繋がる独自性豊かな新製品開発と新技術開発」を経営基本戦略としております。

この基本戦略に則り、食品用改良剤事業の開発部門では国内各所の研究開発部門と現在のアプリケーションセンターを1カ所に集約させることにより、研究開発の効率化を図り、お客様のニーズに合った新たな価値創造を目指してまいります。また、アプリケーションセンターの機能、設備の拡充を行ない、加工食品メーカー様がより有効にお使いいただけるよう充実を図ります。

併せて、海外（上海、シンガポール）にあるアプリケーションセンターとのグローバルネットワークの拠点として、国内外の市場のニーズを捉え「美味しい情報発信基地」としての機能を追求してまいります。

3. 新研究・開発センター概要

名称	新研究・開発センター（仮称）
所在地	千葉県千葉市美浜区新港 56
機能	基礎研究、商品開発、アプリケーション
延床面積	延床面積 約 4,000 m ² （6階建て）
投資金額	約 15 億円
竣工	2019年10月（予定）
研究員数	竣工時約 60 名
概要	1F：エントランス、試作室 2F～3F：試作室 4F：実験室 5F：オフィスエリア 6F：応接室、会議室

以上

リリースに関するお問い合わせは

理研ビタミン株式会社
経営企画部 広報・IR室
TEL 03-5275-5835